

39周年 平和と愛と子どもたち

杉並ぞうれっしゃ合唱団

# ファミリーコンサート

2026年

6月14日(日)

## プログラム

オープニング:木管五重奏そよぎ  
アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク 他

### 1部

西部のうたごえ合同合唱団  
「HEIWAの鐘」「生きてゆくために」  
指揮:服部安宏 ピアノ:武藤栄子  
♪みんなで歌いましょう:  
「青い空は」「手のひらを太陽に」

### 2部

#### 合唱構成

「ぞうれっしゃがやってきた」  
「ぞうのつばさで」から  
作曲/清水則雄 作曲/藤村記一郎  
指揮:掛川陽子  
ピアノ:武藤栄子  
フルート:西村いづみ  
ホルン:慶野未来  
園長:服部安宏  
ネール首相:酒井 崇(特別出演 バリトンソロ)  
合唱:杉並ぞうれっしゃ合唱団 他

開場:13:30 開演:14:00

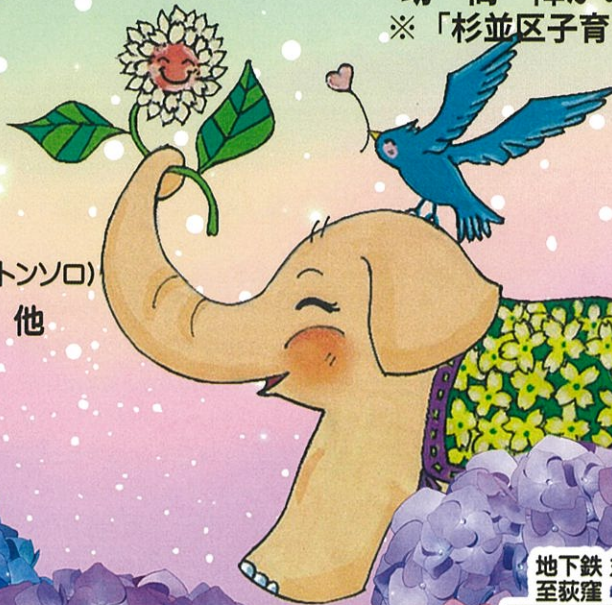
セッション杉並ホール  
地下鉄丸ノ内線東高円寺下車5分

#### 入場料

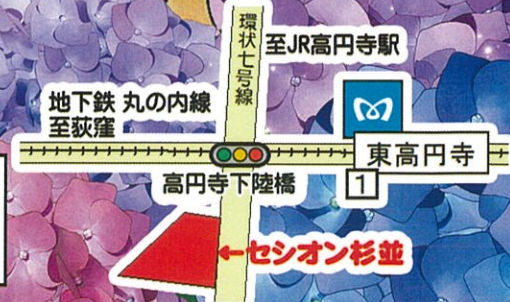
大人 : 1500円

幼~高・障がい者 : 500円

※「杉並区子育て応援券」使用できます。



共催:杉並ぞうれっしゃ合唱団 杉並区教育委員会  
【連絡先】佐藤 TEL:090-8053-6006  
〒167-0031 杉並区本天沼3-18-9 310



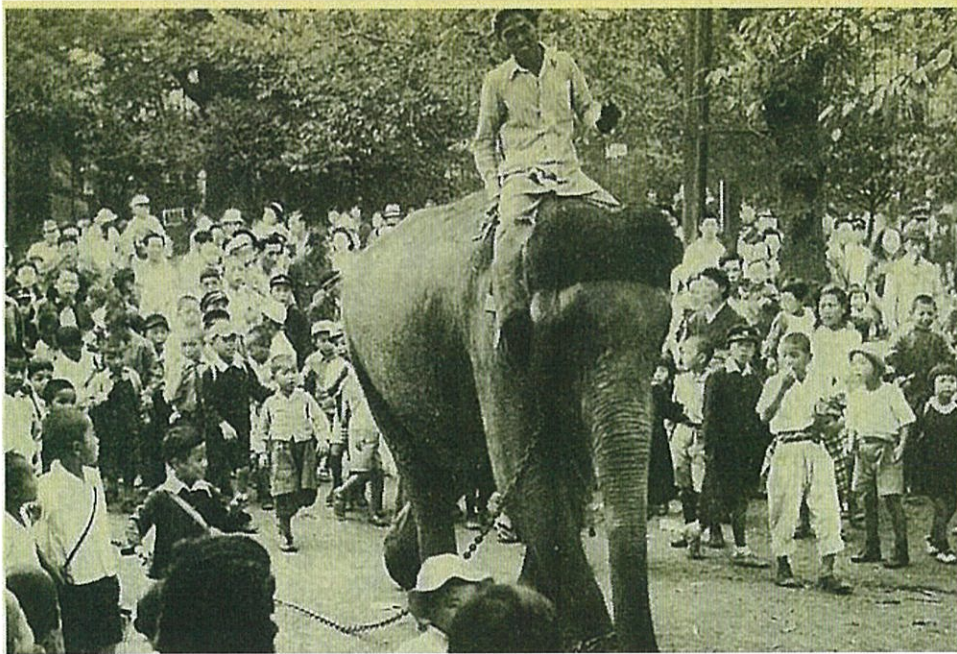
# 子どもたちの願いは、ネール首相にも届いた！

～今回の演奏では、「ぞうれっしゃがやってきた」に加えてインディラが上野動物園にやってきたことも歌います～

マ元帥にお願いして  
象を輸入して下さい  
国会初の子供の請願受理



インドの貿易商ニヨギさんにネール首相への手紙を託す贈呈式(右上 ← → 上は手紙の一部です)



「上野動物園に象がほしい」という子どもたちの願いは、ぞうれっしゃを走らせ、さらに国会請願へと発展。その動きを知ったインドの貿易商のニヨギさんを通じてインドのネール首相に手紙を送り、なんと9月にはインディラがやってきました。「日本の子供たちへ送る言葉」という、戦争直後の全世界の平和を願う気持ちをこめたメッセージとともに。

## 日本の子供達へおくる言葉

皆さん 私は皆さんのお望みによって、インドの象を1頭、皆さんへお贈りする事を、大変うれしく思います。

この象は見事な象で、大変にお行儀が良く、そして聞くところによりますと、体に縁起のよいしるしを、すっかりそなえているとのことです。

皆さん、この象は、私からのではなく、インドの子供達から日本の子供達への贈り物であることをご承知ください。

世界中の子供達は、多くの点で互いに似かよっています。ところが大人になると変り出して、そして不幸なことには時々けんかをしたりします。

私達はこのような大人達のけんかを止めさせなければなりません。そして私の願いはインドの子供達や日本の子供達が成長した時には、それぞれの自分達の立派な祖国のためばかりではなく、アジアと世界全体の平和と協力のためにもつくて欲しいということです。

ですから、このインディラという名を持った象を、インドの子供達からの愛情と好意の使者として考えてください。

インディラは東京でたったひとりぼっちで、あるいは少しさびしがって遊び友達を欲しがるかかも知れません。もし皆さんのお望みならば、

インディラがこれから自分の住家としていく国で幸福になるように、インディラのためにお友達を象を1頭送るようにすることもできます。

象というものは立派な動物で、インドでは大変に可愛がられ、しかもインドの特に代表的なものです。象は賢くて辛抱強く、力が強くしかも優しいものです。

私達も皆、象の持つこれらの良い性格を身につけるようにしてゆきたいものです。

終りに皆さんに私の愛情と好意をおくります。

ニューデリー 1949年9月1日 インド国首相 ジャワハルラル・ネール